

2024

江別の図書館

江別市情報図書館

目 次

I 江別市情報図書館の概要

1 図書館運営の概要	1
2 図書館の沿革	3
3 機構・職員	6
4 予 算	7
5 蔵書冊数等の推移	8
(1) 蔵書冊数	8
(2) 所蔵雑誌冊数	8
(3) AV資料数	8
6 利用状況総括	9
(1) 利用資料数の推移	9
(2) 資料利用者数の推移	9
(3) 団体貸出の推移	9
(4) 貸出登録者数の推移	9
(5) AV資料利用数の推移	10
(6) 図書館資料相互貸借の推移	10
(7) レファレンスサービス等件数の推移	10
(8) 市民一人当たり指標、その他の指標の推移	10

II 各施設の概要

1 情報図書館本館	11
2 情報図書館江別分館	12
3 情報図書館大麻分館	12
4 豊幌小学校図書館	13
5 江別太小学校図書館	13
6 図書等貸出・返却窓口 市民交流施設「ぷらっと」内 江別市民活動センター・あい	14

Ⅲ 事 業

1 読書普及等事業	15
2 展示室事業	15
3 ビデオ視聴室事業	16
4 コンピュータ学習室事業	16
5 視聴覚ライブラリー事業	17

Ⅳ 資 料

1 図 書	18
2 雑 誌	19
3 新 聞	22
4 情報図書館で活動するボランティア	22

Ⅴ 条例、規則

1 江別市情報図書館条例	23
2 江別市情報図書館条例施行規則	25
3 江別市視聴覚ライブラリー規則	28

I 江別市情報図書館の概要

1 図書館運営の概要

江別市における図書館活動は、1963(昭和38)年2月、中央公民館(当時は単に”江別市公民館”)図書室において始まり、その後設置された大麻公民館、野幌公民館においても同様に図書館サービスが行われました。三公民館でのサービスによって年間の図書貸出冊数は市民1人当たり2冊を超え、当時の我が国の図書館奉仕の水準からは決して低くはないものの、レファレンスや周辺活動等、図書館奉仕として満足のいく状況にはありませんでした。

1980年代に入ると、科学技術の発達はもちろんのこと、人生80年の時代を迎え、社会変化の進展も著しいものがありました。

一連の社会変化に対応するため、新しいまちづくりが企画されました。地域の歴史や風土に基づく独自の産業を継承・発展し、江別らしい地域文化を創造していく事が重要な課題となり、とりわけ先端技術産業の誘致を目指していた本市にとって、知的インフラの整備が急務となりました。

こうした状況のなか、時代にふさわしい生涯学習の施設整備のひとつとして構想されたのが情報図書館です。

図書館の建設計画は、1984(昭和59)年に始まります。

建設する図書館は、当然のことながら、全市的な図書館サービスの中核施設になるものでした。その使命は、情報化時代を背景に生涯学習の拠点として、学校教育と社会教育との連携を図りながら、市民の自発的な学習活動に対し情報や資料を提供し支援していくことや、地域文化の創造やまちづくりにも寄与していくことでした。

幸いにも江別市は、通産省の「ニューメディア・コミュニティ構想」事業の指定を受けた事例研究地域として、財団法人ニューメディア開発協会が「教育情報処理システムのあり方」という調査報告書をまとめていたところでした。こうした成果を踏まえ、図書館には次の三つの機能を盛り込むこととしました。

第一は、図書館機能です。従来の図書館奉仕に加え、コンピュータを導入しサービスの向上と事務の効率化を図り、また、3か所の公民館図書室を図書館の分館と位置づけ、本館、各分館をオンライン化することにより即時に所蔵検索を可能にするなど、図書館のネットワーク化を図ることとしました。これは北海道では初の試みでした。

第二は、教育情報機能です。これは、学習情報の提供を行うほか、「コンピュータ学習室」を設け、パソコン教室などを開催し、市民のコンピュータに対する理解を得るための機能を持たすこととしました。

第三は、教育研修機能です。学校教育におけるコンピュータ利用の研究や、科学教材の研究・開発のための機能を持ち、あわせて、科学分野の実験学習・体験学習を行うことができるものとした。

この構想のもと、1987(昭和62)年9月、建設に着手し、1988(昭和63)年7月に竣工しました。その後、開館のための準備期間を経て、1989(平成元)年8月1日、開館の運びとなりました。

その後、コンピュータによる図書館ネットワークは、江別市内の全小中学校とのオンラインが稼動し、以後、札幌市中央図書館、さらには、1993(平成5)年6月から、学習情報提供活動を行うため北海道社会教育総合センターとのオンラインも実現させました。

1996(平成8)年4月には、北海道立図書館のネットワークに参加し、道立図書館の情報を即時に入手することが可能となりました。また、機能充実を目的とする本館の増築工事が完成し、レファレンスルーム、情報提供コーナーや保存書庫等の増設を行いました。

1997(平成9)年4月には、豊幌小学校の改築にあわせ、同校図書館の地域開放事業を開始しました。これは、学校図書館の本格的な地域開放の先駆けとなるものでした。

2004(平成16)年9月には、電算システムを更新し、携帯電話からの蔵書検索を開始し、2005(平成17)年1月からインターネット、2011(平成23)年3月からは携帯電話からの予約サービスを開始しました。

また、2006(平成18)年4月から、学校図書館に司書を派遣し学校図書館の整備や活性化を図る目的で「学校図書館へ情報図書館司書派遣モデル事業」を開始しました。

2011(平成23)年10月には、江別市在住の北海道大学名誉教授・鈴木章氏が2010(平成22)年にノーベル化学賞を受賞したことを記念し、1階ホールに190冊からなる「ノーベル化学賞受賞鈴木章記念文庫」のコーナーを開設しました。

2015(平成27)年8月には、江別太小学校の改築にあわせ、市内2校目の学校図書館地域開放事業を開始しました。

2018(平成30)年1月には、電算システムの更新とともに、ウェブページのデザインを更新してスマートフォン対応とし、インターネット上での再貸出ができるようになりました。

2019(令和元)年12月には、新設された市民交流施設(ぷらっと)においてインターネット予約の資料貸出と返却ができる窓口を開設しました。

2024(令和6)年4月には、スマートフォン等の携帯端末から利用者番号のバーコードを表示し、資料の貸出が可能となるサービスを開始しました。

情報図書館は、開館以来35年目を迎え、どの地域に住んでいる市民も等しく図書館サービスを受けられることを目標に、ネットワークの構築・維持をはじめ、人的な体制の強化など多くの課題に取り組んでいます。

今後も、図書館業務の基本は市民に寄り添った情報提供機能を第一とする考えで充実を図りながら運営を行ってまいります。

2 図書館の沿革

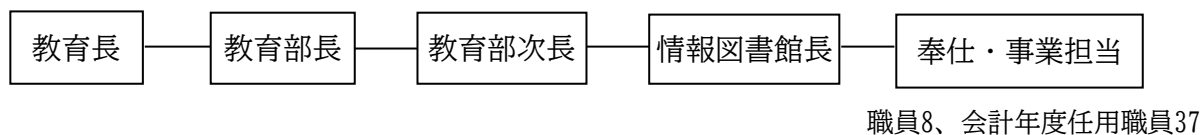
1962年(昭和37年)	江別市公民館の2階図書室を拡充整備し、約1,000冊の図書を購入。同時に規則などを整備。
1963年(昭和38年)	2月 市民の利用始まる。中学生以上一人1冊、1週間の館外貸出しを開始。
1969年(昭和44年)	第2公民館(現野幌公民館)の設置に伴い江別市中央公民館と改称。
1970年(昭和45年)	6月 児童書を購入、貸出しを開始。貸出数が飛躍的に増加。 貸出冊数を一人2冊、2週間とする。
1972年(昭和47年)	図書室を中央公民館1階に移設。
1974年(昭和49年)	1月 大麻公民館開館。同時に図書室を併設し蔵書数3,000冊で貸出しを開始。 第2公民館は野幌公民館と改称。
1975年(昭和50年)	6月 野幌公民館に図書室を併設。3公民館に図書室設置となる。
1980年(昭和55年)	4月 中央公民館に司書を配置。
1984年(昭和59年)	5月 社会教育委員の会議に「図書館建設について」諮問。 11月 野幌公民館新築移転。同時に司書を配置。社会教育委員の会議より「図書館建設について」答申が出される。翌年には大麻公民館にも司書配置。
1985年(昭和60年)	1月 通産省「ニューメディア・コミュニティ構想」事業の準モデル地域指定となる。テーマは「教育情報システムのあり方」。 3月 (財)ニューメディア開発協会が「教育情報システムに関する調査」について、江別市をケーススタディ地域として実施。
1986年(昭和61年)	図書館建設基本設計のための予算計上。(14,900千円)
1987年(昭和62年)	7月 図書館建設決定。準備室を設置。 9月 起工。 用地取得費 540,542千円 総工事費 763,318千円 内訳 主体付帯工事費 682,008千円 外構工事(平成元年) 81,310千円
1988年(昭和63年)	7月 竣工。(北海道補助金70,000千円)
1989年(平成元年)	3月 江別市情報図書館条例制定。3公民館図書室を分館とする。 8月 江別市情報図書館開館。3分館とオンラインにより業務を開始。 9月 中央公民館新築移転に伴い江別分館移転。
1990年(平成2年)	10月 市内小中学校とのオンラインネットのテスト開始。
1991年(平成3年)	7月 開館以来の貸出資料数累計100万冊を越える。 10月 市内全小中学校とのオンラインネット完成。 (インターネットに移行)
1992年(平成4年)	10月 札幌市中央図書館とのオンラインネット完成。 (インターネットに移行)
1993年(平成5年)	2月 北海道社会教育総合センターとのネットワーク完成。 (インターネットに移行)
1994年(平成6年)	9月 図書館システムの更新に伴い、利用者用図書検索機を導入。

1994年(平成6年)	9月 情報ガイドをINS回線によりオンライン化し、コミュニ・ネットに更新。
1995年(平成7年)	4月 図書館本館増築設計のための予算計上。(7,060千円) 6月 増築事業費を予算計上。(173,822千円) 9月 増築工事起工。
1996年(平成8年)	3月 増築工事竣工。レファレンスルーム、保存書庫を増設し、CD-ROM利用者用検索パソコン導入。利用者用図書検索機増設。 4月 北海道立図書館オンライン端末のテストを開始。 9月 本館駐車場の拡張工事实施。38台から56台に増設。 10月 インターネットのホームページ開設。 (1999年4月 https://www.lib.city.ebetsu.hokkaido.jp に変更)
1997年(平成9年)	4月 豊幌小学校において、学校図書館地域開放事業を蔵書数10,000冊で開始。 10月 札幌市広域圏組合による図書館ネットワーク事業開始。大麻公民館新築移転に伴い大麻分館移転。
1998年(平成10年)	衛星通信利用の講座・研修会実施。(7月、10月、2月) 12月 ビデオレポーター事業開始
1999年(平成11年)	6月 電算システム更新。利用者検索機を本館に4台、公民館内の分館に各1台を導入。 9月 コミュニ・ネットシステムをインターネットに全面移行。インターネット公共端末を本館内に2台、3公民館に各1台設置。インターネット上からの蔵書検索システムを近隣図書館に開放。
2000年(平成12年)	4月 「子ども読書年」・子ども読書なんでも相談事業実施。 5月 インターネット上からの蔵書検索システムを一般に開放。
2001年(平成13年)	4月 野幌分館を閉館。 祝日開館開始。 12月 本館駐車場の拡張工事实施。56台から83台に増設。
2002年(平成14年)	4月 完全学校週5日制導入により豊幌小学校図書室開館時間延長。 (第1、第3土曜日も午前10時より開館)
2004年(平成16年)	4月 一人あたり貸出資料数制限5冊から20冊へ増冊。視聴覚ライブラリー資料個人貸出開始。一人5点まで期限1週間で館外貸出。 5月 利用者カード発行システムを変更し翌日交付から即日交付開始。 9月 電算システム更新。利用者検索機を本館7台に増設し携帯電話からの蔵書検索を開始。 11月 第1回雑誌リサイクル市を開催。
2005年(平成17年)	1月 インターネットからの予約サービスを開始。
2006年(平成18年)	1月 本館に闘病記コーナーを新設する。 4月 学校図書館へ情報図書館司書派遣モデル事業を開始。 4月 本館開館時間の延長の試行を開始。 (火・土曜日の閉館時間午後5時を午後7時へ) 毎月第2金曜日午後からの図書整理日を廃止。

2007年(平成19年)	3月 江別市子どもの読書活動推進計画を策定。 7月 学校図書館へ派遣司書を1名から2名へ増員。
2009年(平成21年)	4月 学校図書館支援司書を1名配置。 8月 情報図書館開館20周年。
2011年(平成23年)	3月 電算システム更新。携帯電話からの予約サービスを開始。 4月 「住民生活に光をそそぐ交付金」事業により、派遣司書4名を増員し計6名となる。 10月 ノーベル化学賞受賞鈴木章記念文庫(190冊)の開設。
2012年(平成24年)	7月 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊が来館。
2013年(平成25年)	4月 「住民生活に光をそそぐ交付金」事業の終了に伴い、派遣司書4名が減員となるが、別に派遣司書1名を増員し計3名となる。
2014年(平成26年)	3月 第2期江別市子どもの読書活動推進計画を策定。
2015年(平成27年)	8月 江別太小学校において、学校図書館地域開放事業を蔵書数8,055冊で開始。
2018年(平成30年)	1月 電算システム更新。ホームページのデザイン更新及びスマートフォン対応。インターネット上での再貸出が可能に。
2019年(平成31年)	3月 第3期江別市子どもの読書活動推進計画を策定。 4月 音声資料(CD・カセット)の貸出数を一人1点から2点までとする。
2019年(令和元年)	8月 情報図書館開館30周年。Facebookアカウントを開設。 12月 市民交流施設(ぷらっと)において、インターネット予約の資料貸出、返却業務を開始。
2021年(令和3年)	3月 江別市情報図書館長寿命化計画を策定。
2022年(令和4年)	12月 本館にYA(ヤング・アダルト)コーナーを新設する。
2024年(令和6年)	4月 スマートフォン等の携帯端末から利用者番号のバーコードを表示し、資料の貸出を行うサービスを開始。 7月 Instagramアカウントを開設。

3 機構・職員

(1) 機 構（令和6年4月1日現在）



(2) 職 員

区 分	正 職 員	会計年度任用職員			職員合計
		司書	業務補助員	事務補助員	
本 館	8	13	10	2	33
江別分館		1	2		3
大麻分館		2	3		5
学校司書		4			4
合 計	8	20	15	2	45

注 豊幌小学校図書館の開館日（水・土・日）は、本館司書、業務補助員各1名が勤務

注 江別太小学校図書館の開館日（土・日）は、本館司書、業務補助員各1名が勤務

4 予 算（当初予算）

（１）経 常 費

（単位：千円）

区 分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
情 報 図 書 館 費	88,010	87,798	92,961	106,214
１．報 酬	43,527	43,185	44,050	46,905
３．職 員 手 当 等	9,140	9,140	8,705	17,521
７．報 償 費	432	436	448	423
８．旅 費	60	60	54	59
１０．需 用 費	12,218	12,337	16,235	16,620
１１．役 務 費	1,329	1,320	1,307	1,236
１２．委 託 料	20,720	20,736	21,580	22,822
１３．使用料及び賃借料	503	503	503	546
１７．備 品 購 入 費	0	0	0	0
１８．負担金補助金及び交付金	81	81	79	82

（２）臨 時 費

（単位：千円）

令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度	
図書館資料整備	20,500	図書館資料整備	19,620	図書館資料整備	19,620	図書館資料整備	19,733
図書館設備等 更 新	20,353	図書館設備等 更 新	21,504	図書館設備等 更 新	21,820	図書館設備等 更 新	45,748
子どものための 読書環境整備	8,246	子どものための 読書環境整備	8,749	子どものための 読書環境整備	11,159	子どものための 読書環境整備	13,207
市民交流施設 関 連 経 費	2,010	市民交流施設 関 連 経 費	2,359	市民交流施設 関 連 経 費	2,428	市民交流施設 関 連 経 費	2,608
						情報図書館デジ タル化推進事業	171,402
合 計	51,109	合 計	52,232	合 計	55,027	合 計	252,698

5 蔵書冊数等の推移

(1) 蔵書冊数

(各年度末、単位：冊)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本 館	328,872	328,818	327,450	330,928	331,692
江 別 分 館	29,260	29,214	29,731	29,938	30,144
大 麻 分 館	42,040	41,832	41,006	41,067	41,495
豊 幌 小 学 校	24,650	24,964	25,038	24,899	24,686
江 別 太 小 学 校	14,165	15,068	15,817	16,595	17,091
学 校 支 援 用	7,565	7,504	7,568	7,744	7,798
蔵 書 総 数	446,552	447,400	446,610	451,171	452,906

(2) 所蔵雑誌冊数

(各年度末、単位：冊)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本 館	19,993	19,017	19,056	18,968	19,001
江 別 分 館	805	692	606	437	442
大 麻 分 館	1,386	1,365	1,379	1,348	1,330
豊 幌 小 学 校	879	731	513	482	537
江 別 太 小 学 校	296	240	246	284	287
総 雑 誌 数	23,359	22,045	21,800	21,519	21,597

(3) AV資料数

(各年度末、単位：本・枚)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ビデオテープ	4,125	4,117	4,072	3,985	3,951
L D	1,843	1,843	1,843	1,843	1,846
D V D	611	637	676	774	880
C D	7,625	7,679	7,712	7,733	7,762
カセットテープ	1,556	1,526	1,529	1,512	1,511
そ の 他	1,372	1,367	1,418	1,435	1,455
総 資 料 数	17,132	17,169	17,250	17,282	17,405

注 視聴覚ライブラリー資料を含む。

6 利用状況総括

(1) 利用資料数の推移

(単位:点、日)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本 館	496,978	423,827	365,431	431,910	417,898
江 別 分 館	52,251	43,680	38,321	47,385	46,671
大 麻 分 館	110,756	98,262	80,474	95,182	93,596
豊 幌 小 学 校	8,433	10,666	8,820	9,885	9,758
江別太小学校	10,328	9,136	10,033	10,712	10,235
ぷ ら っ と	2,018	12,954	10,955	13,516	15,055
総 数	680,764	598,525	514,034	608,590	593,213
開 館 日 数	270	259	228	287	293
1 日 当 た り	2,521	2,311	2,255	2,121	2,025

注 団体を除く。

(2) 資料利用者数の推移

(単位:人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本 館	117,985	92,533	78,495	93,176	94,507
江 別 分 館	12,808	10,574	9,031	11,627	11,870
大 麻 分 館	29,371	25,068	20,788	25,869	25,474
豊 幌 小 学 校	2,198	2,919	2,441	2,819	2,371
江別太小学校	3,613	3,575	3,239	3,148	2,897
ぷ ら っ と	928	5,679	5,006	6,214	6,811
総 数	166,903	140,348	119,000	142,853	143,930
1 日 当 た り	618	542	522	498	491

注 団体を除く。

(3) 団体貸出の推移

(単位:件、冊)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出団体数	196	208	216	232	242
(延 べ 数)	(2,202)	(1,801)	(1,641)	(1,958)	(2,252)
貸 出 冊 数	17,618	16,609	16,425	19,153	20,180

(4) 貸出登録者数の推移

(単位:人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者登録数	38,044	39,378	40,681	42,370	43,596
貸出登録者数	14,394	11,799	11,171	11,925	11,520

(5) AV資料利用数の推移

(各年度末、単位:本・枚)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ビデオテープ	2,159	8	0	39	37
L D	294	0	0	12	239
D V D	5,728	1,927	1,407	1,334	2,848
C D	20,856	14,640	11,086	14,190	12,235
カセットテープ	250	151	220	87	59
その他(CDROM他)	0	0	0	0	0
総資料利用数	29,287	16,726	12,713	15,662	15,418

注 視聴覚ライブラリー資料を含む。

(6) 図書館資料相互貸借の推移

(単位:冊)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
国 立 国 会	3	2	1	3	2
北 海 道 立	603	714	605	549	563
札 幌 市	296	330	282	359	274
そ の 他	848	988	924	1,024	862
借 受 合 計	1,750	2,034	1,812	1,935	1,701
貸 出	1,383	1,227	1,145	547	583

(7) レファレンスサービス等件数の推移

(単位:件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
レ フ ァ レ ン ス	口 頭	11,822	12,342	10,895	13,573
	電 話	1,092	3,062	2,531	2,986
	文 書	0	0	0	0
	合 計	12,914	15,404	13,426	16,559
予 約 件 数	103,982	125,065	107,733	107,447	116,048
リクエスト件数	4,029	4,764	4,249	4,981	4,562

注 レファレンス件数は、国立国会図書館の統計基準を採用。

(8) 市民一人当たり指標、その他の指標の推移

区 分	資料費	蔵書数	貸出冊数	利用者登録率	各年度末人口
令 和 元 年 度	183円	3.7冊	5.70冊	31.9%	119,409人
令 和 2 年 度	172円	3.7冊	5.01冊	33.0%	119,502人
令 和 3 年 度	166円	3.8冊	4.31冊	34.2%	119,136人
令 和 4 年 度	166円	3.8冊	5.12冊	35.7%	118,782人
令 和 5 年 度	167円	3.8冊	5.02冊	36.9%	118,136人

注 「資料費」については当初予算を基に算出。

Ⅱ 各施設の概要

1 情報図書館本館

所 在	江別市野幌末広町7番地
開 設	平成元年8月
構 造	鉄筋コンクリート造2階建、 一部地下1階建
敷地面積	12,148.90㎡
建築面積	2,147.79㎡
延べ床面積	2,821.26㎡
電話・FAX	384-0202、(FAX)385-1129
メールアドレス	library@city.ebetsu.lg.jp
開館時間	金・日曜日：10時～17時 火・土曜日：10時～19時（試行） 水・木曜日：10時～21時
休館日	毎週月曜日、年末年始、図書整理日（毎月第4金曜日）、 特別図書整期間（6月中の1週間）



概況	蔵書冊数	339,490冊
	（一般書	248,512冊
	児童書	63,635冊
	郷土	27,343冊

※冊数に学校支援用図書を含む。

江別市における図書館奉仕の中核施設として、資料の収集・保存・参考調査を行うほか、他の公共図書館等との間で資料の相互貸借を行うなど、利用者への資料提供を総合的に行っています。

その他にも、点訳本、カセットテープの郵送サービス、さらにはパソコン教室、その他の各種事業を開催するなど、生涯学習施設として様々な活動を行っています。

◆本館の主要施設・設備

1 階

AVコーナー	ビデオ・LD・DVD兼用ブース10台、 CDブース5台
一般図書コーナー	8万冊収容の書架、利用者用検索端末2台
児童図書コーナー	2万冊収容の書架、利用者用検索端末1台
保存書庫	3万冊収容の書架
整理書庫	3万冊収容の書庫
カウンター	業務用端末4台
レファレンスルーム	1万冊収容の書架 業務用端末3台 CD-ROM検索パソコン1台
ボランティア活動室	点字用パソコン5台、点字プリンター2台
録音室	録音資料作成スタジオ、録音設備、対面朗読室

2階

ビデオ視聴室	100インチスクリーン、ビデオプロジェクション、映像音響設備
コンピュータ学習室	パソコン11台（講師用1台、学習用10台） 3Dプリンター
デモ実験室・展示室	科学実験設備、展示設備
保存書庫	10万冊収容の書庫

2 情報図書館江別分館

所 在	江別市3条5丁目11番地の1 中央公民館内
設 置	昭和38年2月
開 設	平成元年9月
構 造	鉄筋コンクリート造3階建
図書館面積	92m ²
電話・FAX	385-1372(FAX兼用)
開館時間	火～日曜日：10時～17時
休館日	本館と同じ

概 況	蔵書冊数	30,144冊
	一般書	15,987冊
	児童書	13,077冊
	郷土	1,080冊



3 情報図書館大麻分館

所 在	江別市大麻中町26番地の7 大麻公民館内
設 置	昭和49年1月
開 設	平成9年10月
構 造	鉄筋コンクリート造2階建
図書館面積	161m ²
電話・FAX	387-1634(FAX兼用)
開館時間	火～日曜日：10時～17時
休館日	本館と同じ

概 況	蔵書冊数	41,495冊
	一般書	27,028冊
	児童書	12,856冊
	郷土	1,611冊



4 豊幌小学校図書館

所 在 江別市豊幌419番地
 豊幌小学校内
 設置・開設 平成9年4月
 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
 図書館面積 123㎡
 電話・FAX 383-4486(FAX兼用)
 開館時間 水曜日 : 14時～17時
 土・日曜日 : 10時～17時
 休 館 日 本館と同じ日に加えて火・木・
 金曜日・祝日

概 況	蔵書冊数	24,686冊
	一般書	11,321冊
	児童書	12,822冊
	郷 土	543冊



※地域開放事業は学校行事等により上記以外も休館となる場合あり。

5 江別太小学校図書館

所 在 江別市朝日町25番地
 江別太小学校内
 設置・開設 平成27年8月
 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
 図書館面積 180㎡
 電話・FAX 382-2600(FAX兼用)
 開館時間 土・日曜日 : 10時～17時
 休 館 日 本館と同じ日に加えて火・水・
 木・金曜日

概 況	蔵書冊数	17,091冊
	一般書	10,467冊
	児童書	6,280冊
	郷 土	344冊



※地域開放事業は学校行事等により上記以外も休館となる場合あり。

6 図書等貸出・返却窓口

市民交流施設「ぷらっと」内 江別市民活動センター・あい

所 在	東野幌本町 6 番地の43
設置・開設	令和元年12月
構 造	鉄筋コンクリート造 1 階建
窓 口 面 積	30㎡
電 話 ・ FAX	384-0202、(FAX385-1129) ※情報図書館本館
利 用 時 間	月～金曜日：10時～21時 土・日曜日・祝日：10時～18時
休 業 日	年末年始
取 扱 業 務	インターネットで予約した 資料の受け取りや、本館・ 分館で借りた資料の返却など



Ⅲ 事 業

1 読書普及等事業

情報図書館は、図書資料の貸出サービスを中心に運営を行っていますが、周辺活動として読書普及事業も積極的に実施しています。

主なものとして、本館及び分館の幼児・児童を対象とした「おはなし会」を定期的に行っているほか、読書週間などにあわせた各種展示会を開催しています。

おはなし会の開催実績

(単位：件、人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全館合計	件数	298	241	167	241	316	327
	人数	3,403	2,236	1,508	2,236	2,611	2,317

注 読書普及事業以外で行われたおはなし会を含む。

2 展示室事業

(1) 展示会

平成30年度	7月	星のおはなし展	10月	土佐市友好都市提携40周年展
	12月	「えべつ土曜広場」作品展	1月	「しかけ絵本と大型絵本」展
令和元年度	8月	情報図書館30周年記念事業	12月	「えべつ土曜広場」作品展
	1月	「しかけ絵本と大型絵本」展		
令和2年度	8月	こわい本展覧会	9月	防災・減災展示会
	11月	えほんのじかん展	1月	「しかけ絵本と大型絵本」展
令和3年度	8月	こわい本展	10月	アートな本展
	11月	あなたの暮らしとものづくり展	2月	「しかけ絵本と大型絵本」展
令和4年度	7月	こわい本展覧会	10月	江別の歴史展
	11月	「えべつ土曜広場」作品展	2月	「しかけ絵本と大型絵本」展
令和5年度	7月	こわい本展覧会	10月	かがくのせかい展
	11月	「えべつ土曜広場」作品展	2月	「しかけ絵本と大型絵本」展
	2月	手島圭三郎を聴く		

(2) その他

①一般特集

令和5年度	4月	寺山修司没後40年と・・・	5月	消防週間「身をまもる」
	6月	海外文学賞	7月	男女共同参画
	8月	司馬遼太郎	9月	アルツハイマー
	10月	防災	11月	江戸川乱歩デビュー100周年と江戸川乱歩賞受賞作品
	12月	星の世界 プラネタリウム100周年	1月	平成の文学
	2月	冬を楽しむ	3月	春待ち準備中

②エントランス展示

令和5年度	・レコード芸術 70年のあゆみ	・異界を覗く
	・森とともに…江別	・情報図書館ミニギャラリー
	・カードあそび今むかし	・しかけ絵本
	・令和5年度 寄贈資料展	

3 ビデオ視聴室事業

ビデオ視聴室にはビデオプロジェクターなどを備えており、映画会や講演会などを開催しています。

映画会開催・参加状況

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
こども映画会	回数	44	33	31	46	48
	人数	151	85	119	200	191
日曜映画会	回数	44	33	31	46	48
	人数	217	116	118	213	257
特別映画会	回数	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0
名作映画会	回数	9	0	0	11	10
	人数	185	0	0	81	101
合計	回数	97	66	62	103	106
	人数	553	201	237	494	549

4 コンピュータ学習室事業

コンピュータ学習室では、図書館主催のパソコン教室やEPOC(江別パソコン利用研究会)との共催の講習会などを開催しています。また、毎月第一・第三の土・日曜日には教室を一般に開放し、インターネット体験を実施しています。

(1) コンピュータ教室開催・参加状況

教室名	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	開催回数	応募者数	受講者数	開催回数	応募者数	受講者数	開催回数	応募者数	受講者数	開催回数	応募者数	受講者数	開催回数	応募者数	受講者数
初心者パソコン	18	132	102	16	59	56	12	90	53	17	66	63	19	62	60
EPOC講習会	10	88	65	8	58	47	8	65	38	10	44	42	12	53	51
その他	1	3	3	1	5	4	1	4	4	1	2	2	1	1	1
合計	29	223	170	25	122	107	21	159	95	28	112	107	32	116	112

※EPOC講習会は自由参加の相談室含む

(2) コンピュータ学習室事業開催・利用状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	50	55	52	72	77
利用者数	1,883	895	1,087	1,714	2,150

5 視聴覚ライブラリー事業

情報図書館に視聴覚ライブラリーを設置しています。視聴覚ライブラリーには、視聴覚教育に必要な機器や教材をそろえ、学校教育、社会教育の利用に提供しています。

(1) 視聴覚ライブラリー保有機器

機器名	保有台数
16ミリ映写機（内臓＋専用スピーカー付き）	1
16ミリ映写機（内臓スピーカー）	1
8ミリ映写機（専用スピーカー付き）	1
プロジェクター	3
OHP	1
OHC	1
スライド映写機	2
ビデオデッキ	1
DVDプレイヤー	1
ブルーレイディスクプレイヤー	1
デジタルビデオカメラ	1
8ミリビデオカメラ	1
80インチスタンドスクリーン（4：3）	3
60インチスタンドスクリーン（4：3）	1
暗幕	5

(2) 教材

ソフト種別	保有本数
DVD教材	1,351 本
ビデオ教材	783 本
レーザーディスク教材	77 本
CD-ROM教材	2 本

(3) 視聴覚ライブラリー機器・教材貸出状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
16mm映写機	0	0	0	0	0
8mm映写機	1	0	2	0	0
プロジェクター	39	19	48	29	23
OHP	0	0	0	0	0
OHC	4	0	0	0	0
スライド映写機	0	0	0	0	0
ビデオデッキ	0	0	0	0	0
DVDプレイヤー	0	2	3	0	4
ブルーレイプレイヤー	1	2	3	0	1
ビデオカメラ	1	0	5	2	6
スクリーン	34	15	28	10	14
暗幕	1	3	2	1	1
16mmフィルム	0	0	0	0	0
延長コード	1	0	0	0	0
ビデオソフト	35	7	2	3	1
DVDソフト	2,331	1,925	1,404	1,184	1,079
合計	2,448	1,973	1,497	1,229	1,129

IV 資 料

1 図 書

(各年度末、単位:冊)

分 類		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
0 総 記	一般	10,350	10,396	10,418	10,415	10,540
	児童	2,315	2,226	2,280	2,319	2,376
1 哲 学	一般	12,589	12,728	12,504	12,662	12,852
	児童	790	761	782	814	833
2 歴 史	一般	24,210	23,992	24,237	24,439	24,287
	児童	4,657	4,605	4,575	4,623	4,650
3 社会科学	一般	43,386	43,803	43,896	44,144	43,707
	児童	3,601	3,578	3,613	3,753	3,834
4 自然科学	一般	19,606	19,864	20,333	20,839	20,475
	児童	7,197	7,122	7,111	7,253	7,260
5 技 術	一般	25,055	24,582	24,653	24,899	25,327
	児童	2,440	2,392	2,435	2,481	2,514
6 産 業	一般	10,722	10,826	10,983	11,103	10,902
	児童	1,987	1,999	2,035	2,055	2,083
7 芸 術	一般	28,325	28,331	28,447	28,461	28,708
	児童	5,187	5,163	5,082	5,138	5,196
8 言 語	一般	5,768	5,836	5,904	5,958	6,003
	児童	1,186	1,184	1,192	1,196	1,212
9 文 学	一般	131,788	132,218	128,881	130,477	130,514
	児童	77,021	76,707	77,352	77,749	78,712
一般書計		311,799	312,576	310,256	313,397	313,315
児童書計		106,381	105,737	106,457	107,381	108,670
郷土資料		28,372	29,087	29,897	30,393	30,921
合 計		446,552	447,400	446,610	451,171	452,906

2 雑誌

◎一般書扱い ○購入 △寄贈

No.	雑誌名	所蔵館名				
		本	江	大	豊	太
1	愛犬の友	○				
2	あうる	△				
3	AERA	○				
4	あ 朝日新聞縮刷版	○				
5	アニメージュ	○				
6	ALBATROSS-VIEW	○				
7	anan	○				
8	一個人					○
9	一枚の絵	○				
10	い いぬのきもち	○				
11	イラストレーション	○				
12	With	○				
13	う 美しい花ノ	○				
14	美しい部屋	◎				
15	宇波百合	◎				
16	栄養と料理	○				
17	ESSE					○
18	NHKガッテン					○
19	NHKきょうの健康	○		○		
20	NHKきょうの料理		○	○		
21	え NHKきょうの料理ビギナーズ					○
22	NHK趣味の園芸	○				
23	NHK趣味の園芸やさいの時間					○
24	NHKすてきにハンドメイド		○	○		
25	絵本とおはなし	○				
26	園芸ガイド		○	○	○	
27	おおきなポケット	○				
28	オートメカニク	○				
29	オール讀物		○			
30	お 0.tone[オトン]	△				
31	おはよう21	○				
32	おひさま	○				
33	alterna(カルタ)	△				
34	オレンジページ		○	○		
35	CasaBURUTUS			○		
36	ガーデン&ガーデン	○				
37	会社四季報	○				
38	かがくのとも		○	○		
39	かぞくのじかん			○		
40	か 学校図書館	○				
41	学校図書館速報版	○				
42	CUT	○				
43	家庭画報	○				
44	Comehome!	◎				
45	カントリークラフト	◎				
46	き ネマ旬報	○				
47	教育	○				
48	キルトジャパン	○				
49	ku:nelクウネル		○			
50	クエーン	○				
51	クオリティ	○				
52	く 区画整理士会報	△				
53	暮らしの手帖	○	○	○		
54	クララ			○		
55	CREAクレア					○
56	クロワッサン	○		○		
57	く 群像	○				
58	経済	○				
59	芸術新潮	○				
60	毛糸だま	○				
61	月刊おりがみ	○				
62	月刊碁ワールド	○				
63	月刊自家用車		○			
64	月刊社会教育	○				
65	け 月刊ニュースがわかる				○	
66	月刊バスケットボール	○				
67	月刊バレーボール	○				
68	月刊保育とカリキュラム	○				
69	健康					○
70	健康365				△	
71	原始林	△		△		
72	現代の図書館	△				
73	航空ファン	○				
74	皇室	△		△		
75	コットンタイム	◎				
76	Cottonfriend				○	
77	kodomoe		○			
78	こどもとしゃかん	○				
79	子どもと昔話	○				
80	子供の科学	○				
81	こ こどものとも	○		○		
82	こどものとも0.1.2	◎				
83	こどものとも年少版	○	○			
84	こどものとも年中向き		○		○	
85	こどもの本	△				
86	子どもの本棚	○				
87	この本読んで!	○				○
88	辛夷	△				
89	コンクリート工学	△				
90	財界さっぽろ		○	○		
91	サッカーダイジェスト	○				
92	ZAKKABOOK私のカントリー別冊	◎				
93	さ さっぽろ経済	△				
94	札幌人	○				
95	サライ			○		
96	サンデー毎日	○				
97	GQJAPAN	○				
98	CQhamradio	○				
99	CDジャーナル			○		
100	JTB時刻表	○	○	○		
101	時空旅人			○		
102	社会運動	○				
103	じゃらん		○		○	
104	し 週刊朝日	○				
105	週刊エコノミスト	○				
106	週刊金曜日	○				
107	週刊新潮	○		○		
108	週刊東洋経済			○		
109	週刊日販速報	△				
110	週刊文春	○		○		
111	週刊ベースボール	○				
112	ジュニアエラ	○				

No.	雑誌名	所蔵館名				
		本	江	大	豊	太
113	ジュリスト	◎				
114	ジュリスト増刊	◎				
115	ジュリスト臨時増刊	◎				
116	将棋世界	○				
117	商業界	○				
118	小説現代	○				
119	し 小説新潮			○		
120	小説推理	○				
121	小説すばる	○				
122	書斎の窓	△				
123	書写書道	△				
124	新潮	○				
125	新聞ダイジェスト	○				
126	人民中国			△		
127	SWIMMINGMAGAZINE	○				
128	SKIGRAPHIC	○				
129	スクリーン			○		
130	すばる	○				
131	す SportsGraphicNumber	○				
132	スマッシュ	○				
133	墨	○				
134	すみごこち	○				
135	相撲	○				
136	スロウ	○				
137	青春と読書	△				
138	せ 世界	○				
139	世界思想	○				
140	装苑	○				
141	壮快	○				
142	総合教育技術	○				
143	そ 育てる	△				
144	ソトト	○				
145	SOFT-TENNISMAGAZINE	○				
146	宇宙（そら）のとびら			△		
147	TIME	○				
148	たくさんのふしぎ	○		○		
149	た 卓球王国	○				
150	ダ・ヴィンチ				○	
151	短歌研究	○				
152	DANCEMAGAZINE	○				
153	ちいさなかがくのとも			○		
154	ちくま	△				
155	ち 致知	△				
156	CHANTO	△				
157	中央公論	○				
158	つ 壺	△				
159	つり人	○				
160	鉄道ファン	○				
161	て 天然生活			○		
162	天文ガイド	○				
163	道新受験情報	◎				
164	図書	△				
165	と 図書館界	△				
166	図書館雑誌	△				
167	土木学会誌	△				
168	な ナショナルジオグラフィック日本版	○				
169	な 波	△				
170	日経WOMAN	○				
171	日経おとなのOFF	○				
172	日経サイエンス	○				
173	日経パソコン	△				
174	に 日経PC21	△				
175	日経ビジネス	○				
176	日経ヘルス	○				
177	日経マネー		○			
178	日本カメラ	○				
179	Newton	○				
180	ね ねこのきもち	○				
181	の NorthAngler's	○				
182	non-no	○				
183	BIRDER	○				
184	俳句	○				
185	BiCYCLECLUB	○				
186	パソコンで読む北海道新聞	○				
187	は パソコン通信	○				
188	パッチワークレッスン帳（別冊美しい部屋）	◎				
189	バドミントンマガジン	○				
190	母の友	○				
191	haru mi	◎				
192	ハルメク		○	○		
193	PE技術士	△				
194	PHPのびのび子育て	○				
195	ひ BE-PAL			○		
196	美術手帖	○				
197	BISEビーズ	○				
198	fauraファウラ	◎				
199	FishingCafe	△	△	△	△	△
200	フォトン		○			
201	婦人画報	○		○		
202	婦人公論	○		○		
203	ふ 婦人之友	○				
204	武道	△				
205	PLUSLiving	◎				
206	プレジデント	○				
207	プレレストコンクリート	△				
208	文学界	○				
209	文芸春秋	○	○	○		
210	へ 別冊ザイ	◎				
211	別冊ジュリスト	○				
212	H0【ほ】			○		○
213	Voiceボイス	○				
214	北海道新聞縮刷版	○				
215	北海道生活	○				
216	ほっかいどう点字版	△				
217	ほ 北海道のつり			○		
218	北方圏	△				
219	poroco	○		○		
220	本	○				
221	本の雑誌		○			
222	本の窓	△				
223	ま Mart			○		
224	MyGARDENマイガーデン					○

◎一般書扱い○購入△寄贈

No.	雑誌名	所蔵館名				
		本	江	大	豊	太
225	MyLoFE	△	△	△	△	
226	まち・むら	△				
227	ま MacFan	△				
228	MAMOR(マモル)	△				
229	丸	○				
230	みすず	△				
231	ミステリマガジン	○				
232	ミセス			△		
233	み ミセスのスタイルブック		◎			
234	道	○				
235	未来	○				
236	みんなの図書館	○				
237	MORE	○				
238	MOE	○	○			
239	も MOTORMAGAZINE	○				
240	モーター	△				
241	monoマガジン		○			
242	縦(もみ)	△	△	△	△	
243	や 山と溪谷	○				
244	ゆ ゆうゆう			○		
245	ユリカ	○				
246	ら ランティエ	△				
247	ランナース	○				
248	り LEE				○	
249	歴史街道			○		
250	れ レポート 芸術	○				
251	レタスクラブ				○	
252	ろ ローリーの友	△				
253	rockin'on	○				
254	私の家づくり	◎				
255	わ 私のカントリー	◎				
256	私の手作り	○				
小計		204	26	41	14	12
計		297				

※◎一般書扱いの雑誌については、当館HP「所蔵雑誌一覧」に掲載しておりません。

3 新 聞

(1) 所蔵館別提供新聞

区 分	本 館	江 別 分 館	大 麻 分 館	豊 幌 小 学 校	江 別 太 小 学 校
北 海 道 新 聞	○	○	○		
朝 日 新 聞	○	○	○		
毎 日 新 聞	○	○	○		
読 売 新 聞	○	○	○		
日 本 経 済 新 聞	○		○		
産 経 新 聞	○				
日 刊 ス ポ ー ツ	○				
ジャパントイムズ ウィークエンド	○				
日 本 農 業 新 聞	○				
朝日ウィークリー	○				
福 島 民 友	○				
福 島 民 報	○				

(2) マイクロフィルム

北海道新聞 明治20年 ～昭和62年12月

(3) 縮 刷 版

北海道新聞 昭和42年4月～

朝日新聞 昭和43年7月～

4 情報図書館で活動するボランティア

(1) おはなし会等

- ・鈴木 紀子 ・根上 幸栄 ・村住とも子 ・片桐 亜結子
- ・松山 和子 ・山崎 聡子 ・おはなしなあに ・ねぎぼうず
- ・おはなしポケット ・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭 ・オリオンの帯
- ・シアターとんとん ・おはなしくまさん ・ひまわり ・かみふうせん

(2) 点訳

- ・点字ろくの会 ・つなぎふ ・点訳の輪

(3) 音声訳

- ・朗読ボランティアグループ まちの灯

(4) パソコンボランティア

- ・江別パソコン利用研究会 (EPOC)

V 条例、規則

平成元年 3月31日
条例 第22号

1 江別市情報図書館条例

（設置）

第1条 図書館法（昭和25年法律第118号）第10条に基づき、江別市情報図書館（以下「図書館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
江別市情報図書館	江別市野幌末広町7番地

（分館の設置）

第3条 江別市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、必要に応じて分館を設置することができる。

（事業）

第4条 図書館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- （1）図書、記録、視聴覚の資料その他必要な資料（以下「資料」という。）を収集、整理、保存して、市民の利用に供すること。
- （2）読書会、研究会、鑑賞会、映画会、資料展示等に関する事。
- （3）生活情報、学習情報等の提供に関する事。
- （4）視聴覚機器及び情報機器活用による学習、研修等に関する事。
- （5）科学実験学習、研修等に関する事。
- （6）館報その他読書資料の発行等に関する事。
- （7）学校、公民館、関係研究機関、他の図書館等と緊密に連絡し、協力すること。
- （8）その他図書館の目的達成のために必要な事業

（開館時間及び休館日）

第5条 図書館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- （1）開館時間 午前10時から午後5時まで。ただし、第3条の規定により設置した分館を除き、水曜日及び木曜日については、午後9時までとする。
- （2）休館日
 - ア 月曜日
 - イ 12月29日から翌年1月3日まで

2 前項第2号に掲げるもののほか、次に掲げる日又は期間は、資料及び生活情報、学習情報等の提供については、市民の利用に供さないものとする。

- （1）整理日 毎月第2金曜日の正午から午後5時まで及び第4金曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たる場合を除く。）
- （2）特別整理期間 6月中の1週間

（資料の館外利用）

第6条 教育委員会が定める一定の条件を備える者は、図書を館外に借り出して、閲覧することができる。

2 前項により借り出して閲覧しようとするときは、教育委員会の定めるところにより館長の許可を受けなければならない。

（入館の制限）

第7条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館に入館しようとする者の入館を拒否し、又は入館している者を退館させることができる。

（1） 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあるとき。

（2） 建物、附属設備、資料、備付物品等をき損し、又は滅失するおそれがあるとき。

（3） その他図書館の管理運営上支障があるとき。

（損害賠償）

第8条 図書館に入館した者は、入館によって建物、附属設備、資料、備付物品等をき損し、又は滅失したときは、市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めたときは、この限りでない。

（資料の寄贈及び寄託）

第9条 図書館は、一般の利用に供する目的で、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた資料は、別段の契約がある場合のほか、図書館所蔵のものと同じ取扱いとする。

3 寄託を受けた資料が、火災、盗難、その他不可抗力の災害により損害を受けた場合は、市は、その賠償の責任を負わない。

（指定管理者による管理）

第10条 教育委員会は、図書館の管理運営上必要があると認めるときは、指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に図書館の管理を行わせることができる。

2 前項の規定により指定管理者に管理を行わせる場合の当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

（1） 施設の運営及び維持管理（教育委員会が定めるものを除く。）

（2） 第4条各号に掲げる事業の計画及び実施

（3） 上記業務に付随する業務

3 第1項の規定により指定管理者に管理を行わせる場合にあっては、第5条から第7条までの規定中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」として、これらの規定を適用する。

（委任）

第11条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

（附則は省略）

2 江別市情報図書館条例施行規則

平成元年 6月30日
教育委員会規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、江別市情報図書館条例（平成元年条例第22号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(分館)

第2条 条例第3条の規定に基づき設置する分館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
江別市情報図書館江別分館	江別市3条5丁目11番地の1
江別市情報図書館大麻分館	江別市大麻中町26番地の7

(館内利用)

第3条 図書、記録、視聴覚の資料その他必要な資料（以下「資料」という。）（第4項の資料を除く。）を利用しようとする者は、開架書架によって自由に利用することができる。

- 2 資料は、所定の場所で閲覧し、音読、談話、その他騒がしい行為をしてはならない。
- 3 閲覧済の資料は、速やかに書架に返納しなければならない。
- 4 視聴覚の資料を利用しようとする者は、受付で所定の手続を取らなければならない。

(館外利用者の範囲)

第4条 図書を館外で利用することができる者は、次に掲げるものとする。

- (1) 市内に住所を有する者
 - (2) 市内に住所を有しないが、市内に所在する学校又は事業所等に通学し、又は勤務している者
 - (3) その他江別市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が特に適当と認めた者
- 2 館長は、前項各号に掲げる者のほか、他の図書館若しくは図書室又は市内の地域団体、読書会、事業所その他館長が適当と認めた団体（以下「団体等」という。）に対しては、図書を館外で利用させることができる。

(図書貸出証)

第5条 図書を館外で利用しようとする者は、図書貸出証交付申込書（第1号様式）を提出し、図書貸出証（第2号様式）の交付を受けなければならない。

- 2 図書貸出証は、他人に使用させてはならない。
- 3 図書貸出証を紛失した場合は、速やかに届け出て、再交付を受けなければならない。
- 4 図書貸出証の交付を受けた者が氏名又は住所等を変更したときは、速やかにその旨を届け出なければならない。

(貸出しの手続)

第5条の2 資料の貸出しを受けようとする者は、次の各号のいずれかの方法により貸出しの手続を行わなければならない。

- (1) 前条第1項の規定により交付された図書貸出証を提示する方法
- (2) スマートフォン等の携帯端末（以下「スマートフォン等」という。）で図書館システムにログインし、スマートフォン等に表示される利用者番号のバーコードを提示する方法
- (3) その他館長が適当と認める方法

（貸出冊数及び貸出期間）

第6条 図書の貸出冊数及び貸出期間は、団体等が利用する場合を除くほか、次に掲げるとおりとする。

- （1） 貸出冊数は、20冊以内とし、未返納の図書がある場合は、その図書を含めて20冊を超えないこと。
- （2） 貸出期間は、2週間以内とし、返納期日が休館日に当たるときは、その翌日までとすること。

（団体貸出）

第7条 団体等が図書を館外で利用しようとする場合は、次に掲げるところによる。

- （1） 貸出冊数は、当該団体等の構成員等を考慮して館長が定めること。
- （2） 貸出期間は、30日以内とし、返納期日が休館日に当たるときは、その翌日までとすること。ただし、館長が必要と認めたときはこれを変更することができる。
- （3） 図書の貸出しを受けた団体等の代表者等は、貸出期間中、当該図書について一切の責任を負うこと。

（貸出しの制限）

第8条 館長は、貴重図書等で貸出しすることが適当でないと認めるものについては、貸し出さないことができる。

（施設の使用）

第9条 江別市情報図書館（以下「図書館」という。）のビデオ視聴室、ビデオ編集室、コンピューター学習室、研修室、デモ展示室、デモ実験室（以下「施設」という。）は、社会教育関係団体等が学習又は教材の制作等のために使用する場合は、教育委員会が適当と認めるときに限り使用することができる。

（施設の使用申請）

第10条 前条の規定により、施設を使用しようとする者（以下「申請者」という。）は、江別市情報図書館使用許可申請書（第3号様式）により教育委員会に申請しなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

（使用許可書の交付）

第11条 教育委員会は、前条の申請書の提出を受けたときは、内容を審査し、使用を許可するときは、江別市情報図書館使用許可書（第4号様式）を申請者に交付する。

（遵守事項）

第12条 入館者等は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （1） 危険物を持ち込み、又は指定された場所以外で火気を使用しないこと。
- （2） 所定の場所以外で飲食し、又は敷地内で喫煙をしないこと。
- （3） 騒音を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- （4） 建物、付属設備、資料、備付備品等を適切に取り扱うこと。
- （5） 指定の場所以外に車を乗り入れ、又は駐車しないこと。
- （6） その他職員の指示に従うこと。

(寄贈)

第 13 条 資料の寄贈は、資料寄贈申込書（第 5 号様式）によって行うものとする。

(寄託)

第 14 条 資料の寄託をしようとする者は、資料寄託願（第 6 号様式）によって、館長の承認を受けなければならない。

2 館長は、資料の寄託を承認したときは、寄託者に寄託資料受領証（第 7 号様式）を交付するものとする。

3 寄託された資料は、寄託者の請求によりこれを返還する。

(事務分掌)

第 15 条 図書館の所掌事務は、次のとおりとする。

(1) 図書資料等の収集、整理及び保存に関すること。

(2) 館内利用及び館外貸出しに関すること。

(3) 図書資料及び情報資料の提供並びに読書指導及び相談に関すること。

(4) 分館活動に関すること。

(5) 読書の普及啓蒙に関すること。

(6) 図書館の維持管理に関すること。

(7) 情報機器、視聴覚機器及び実験機器活用による事業の企画、実施及び奨励に関すること。

(8) 視聴覚ライブラリーの運営に関すること。

(9) 教育関係機関及び団体との連携及び援助に関すること。

(職員及び職務)

第 16 条 図書館に館長を置くものとし、必要な場合は、参事、主査、主任その他必要な職員を置くことができる。

2 館長は、上司の命を受けて館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

3 参事及び主査の職務については、別に定める。

4 前 2 項の職員以外の職員は、上司の命を受けて図書館業務に従事する。

(指定管理者による管理)

第 17 条 条例第 10 条第 1 項の規定により指定管理者に図書館の管理を行わせる場合にあっては、第 4 条の規定中「江別市教育委員会（以下「教育委員会」という。）」とあるのは「指定管理者」として、第 10 条及び第 11 条の規定中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」として、これらの規定を適用する。

2 前項の場合において、図書貸出証交付申込書その他のこの規則に規定する様式は、指定管理者が教育委員会と協議して定めるものとする。

(委任)

第 18 条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

(附則及び様式は省略)

3 江別市視聴覚ライブラリー規則

昭和 45 年 8 月 17 日
教育委員会規則第 9 号

(目的)

第 1 条 視聴覚教育に必要な機器及び教材の充実、活用によって、江別市における学校教育の充実と社会教育の振興を図るため、江別市視聴覚ライブラリー（以下「ライブラリー」という。）を江別市情報図書館に置く。

(事業)

第 2 条 ライブラリーは、前条の目的を達成するため次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 学校教育及び社会教育活動に対する視聴覚機器、教材等の貸出しに関すること。
- (2) 視聴覚機器、教材等に関する研修の実施に関すること。
- (3) 視聴覚教材の利用及び製作についての指導助言に関すること。
- (4) 保有機器、教材等の維持管理及び補修に関すること。
- (5) 学習情報及び視聴覚教育資材の収集、分析、保管に関すること。
- (6) 視聴覚教育に関する調査研究に関すること。
- (7) 関係機関、団体との連携及び情報交換に関すること。
- (8) その他視聴覚ライブラリー事業の効果的運営に関すること。

(運営委員会)

第 3 条 前条の事業を円滑に行うため、江別市視聴覚ライブラリー運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 教育部次長
- (2) 総務課長
- (3) 生涯学習課長
- (4) 公民館長
- (5) 社会教育主事
- (6) 校長会代表者
- (7) 江別市教育機器活用研究連盟代表者
- (8) 情報図書館長
- (9) 郷土資料館長

3 運営委員会に委員長を置き、教育部次長をもって充てる。

第 4 条 運営委員会は、必要に応じ教育部次長が招集し、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) ライブラリーの運営に関すること。
- (2) ライブラリーに必要な機器及び教材の充実に関すること。
- (3) ライブラリーの機器及び教材の活用に関すること。
- (4) その他必要な事項

(貸出対象)

第 5 条 ライブラリーの機器及び教材の貸出しを受けることができるものは、次の各号に掲げるものとする。ただし、機器については、第 4 号に掲げる者には貸し出さない。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する市内の学校
- (2) 市内の社会教育関係団体
- (3) 社会教育活動をしようとする市内の団体及び職場
- (4) 江別市情報図書館条例施行規則（平成元年教育委員会規則第8号）第5条第1項に規定する図書貸出証（以下「図書貸出証」という。）の交付を受けた者

（貸出手続）

第6条 貸出しを受けようとするものは、あらかじめ視聴覚機器及び教材借用申請書（第1号様式）を提出し許可を受けなければならない。ただし、前条第4号に掲げる者が教材の貸出しを受けようとする場合は、図書貸出証の提示をもって足りる。

（貸出制限）

第7条 機器及び教材は、次の各号のいずれかに該当するときは貸出しない。

- (1) 営利を目的に使用する場合。
- (2) 特定の政党、宗派の宣伝に利用されるおそれのあるとき。
- (3) 機器及び教材の操作を熟知していると認められる者がいないとき。

（貸出期間）

第8条 機器及び教材の貸出期間は、次のとおりとする。ただし、申請内容により貸出期間を延長することができる。

- (1) 機器 3日間以内
- (2) 教材 1週間以内

（機器及び教材の事故）

第9条 借受者は、機器に故障の生じた場合には、簡易な部品の交換を除きみだりに分解又は修理をしてはならない。

第10条 次の各号のいずれかに該当する場合は、借受者は直ちに教育長に事故報告書（第2号様式）を提出しなければならない。

- (1) 機器及び教材を紛失したとき。
- (2) 機器及び教材を損傷し、使用に堪えなくなったとき。

（損害の弁償）

第11条 機器及び教材を損傷し又は盗難、紛失したときは、借受者は、この損害を弁償しなければならない。ただし、借受者の責に帰することができないときはこの限りでない。

2 前項の弁償については教育委員会が決定する。

（禁止行為）

第12条 機器及び教材の使用に当たっては観覧料金を徴収し、又は他に転貸してはならない。

（補則）

第13条 この規則の施行について必要な事項は別に定める。

（附則及び様式は省略）

2024年版 江別の図書館

発行年月 令和6年10月

編集 江別市情報図書館

発行 江別市教育委員会

江別市情報図書館

〒069-0815 江別市野幌末広町7番地

TEL 011-384-0202 FAX 011-385-1129

HP <https://www.lib.city.ebetsu.hokkaido.jp>